

8008 国際情勢は日々新しい展開を示し・・・

国際情勢は日々新しい展開を示し、アメリカ、ヨーロッパ、ソ連、中国その他の諸外国とわが国との関係も、いま大きく変わろうとしている。政治、経済、文化の局面において、世界の多極化と同時に組織化が、そして組織化と同時に摩擦、軋轢、緊張がともに生じつつあるのが現代の大きな特徴であろう。

木村尚三郎『西欧文明の原像』

[許容訳例]

The international situation is taking a new turn almost every day, and the relations of our country with the U.S.A., the European nations, the U.S.S.R. China and other nations are changing greatly. In the spheres of politics, economics, and culture, the remarkable feature of our times is that multipolarization and increasing organization of the world are occurring at the same time, while increasing organization is giving rise to friction, discord, and strains among nations.

[翻訳例]

The international situation is showing new developments from day to day, and relations between Japan on the one hand and America, Europe, the Soviet Union, China and other foreign countries on the other are showing signs of major change. In the spheres of politics, economics, and culture, multipolarization is accompanied by increasing organization in the world, and increasing organization is bringing in its wake friction, discord, and tension; this is probably a major characteristic of the present age. (the present age is characterized politically, economically, and culturally by multipolarization and simultaneously, increasing organization, while increasing organization is bringing in its wake friction, discord, and tension; this is probably a major characteristic of the present age.)

■国際情勢は日々新しい展開を示し、アメリカ、ヨーロッパ、ソ連、中国その他の諸外国とわが国との関係も、いま大きく変わろうとしている。(8008)

★「国際情勢」は international situation が一番当たり前の表現です。

★「日々」は、辞書を見ると、every day; daily; from day to day; day after day; day by day などが出ています。ここでは、何かが変化していく場合によく使う from day to day がぴったりです。ついでですが、day by day は日本語に訳すと「日を追って」ということで、減るとか増えるという場合によく使います。day after day は、たとえば、He looked for her day after day but without success. というように「根気よく」という感じが入ります。ほかに、day in, day out という表現があります。これは、たとえば、He works day in, day out without ever taking a holiday. のように「ひっきりなしに；休まずに」という場合によく使います。

★「新しい展開を示す」は、文字通り show new developments です。development は「展開、発展、進展」と非常に幅広いのですが、ここでも使っていいと思います。なお、辞書に

は「新局面を展開する」という例文に take a new turn; make a fresh development がありますが、take a new turn を使うと situation 全体が変わることになり、元の日本語の表現意図とちょっとずれると思われます。また make a development という言い方はあまりしません。「示す」にこだわらなければ develop（発展する）を使うこともできます。

★「アメリカ」は the U.S.A.が正式ですが、America で通じます。

★「ヨーロッパ」も、正しくは the European nations ですが、Europe で通じます。

★「ソ連」も正しくは the U.S.S.R.ですが the Soviet Union で通じます。

★「その他の諸外国」は other foreign countries[nations]です。なお、これに some を加えてはいけません。some other foreign countries[nations]とすると、ある特定の国のことを頭に置いている感じがするのです。

★「わが国」は our country より Japan に変えた方がいいと思います。日本に来ている外国人の中には our country という言い方が自己中心的に聞こえて非常に抵抗を感じる人もいますからです。

●国名がいくつも並びますが、英語でリストを作る場合、A, B, C, D, and E のように最後の前に and を入れるわけですが、この場合、「・・・とわが国・・・」のところで、また and を使うと A, B, C, D, E and other foreign countries and Japan と and が二つ並ぶことになって非常にわかりにくくなります。それを避けるためには、the relations of Japan with A, B, C, D, E and other foreign countries とするか、他によく使う表現として the relations between Japan on the one hand and A, B, C, D, E and other foreign countries on the other があります。

★「いま大きく変わろうとしている」は文字通り訳すと are changing greatly ですが、元の日本語には「少しは動いているかもしれないが、まだ大きく変わっていない」という含みが込められていると考えられるので、英語的には「大きく変わろうという気配を示している」ということです。Are showing signs of major changes とするのが一番いいと思います。なお、change は単数でもいいのですが複数にすることによって変化を一つ一つ具体的に思い描いていることになります。なお、「・・・としている」に be about to...は使えません。これを使うと「今のところ動いていないけど今にも動きそうだ」という意味になってしまうからです。

■政治、経済、文化の局面において、世界の多極化と同時に組織化が、そして組織化と同時に摩擦、軋轢、緊張がともに生じつつあるのが現代の大きな特徴であろう。(8008)

★「政治、経済、文化の局面において」の「・・・の局面において」ですが、そのまま対応的に訳すと In the spheres of politics, economics, and culture です。辞書的には phase も考えられます。たとえば、辞書では「新局面に入る」に対して enter on a new phase という表現も出ていて、間違いではありませんが、phase という言葉は、日常会話とか、こういう当たり前の文章では「面・相・局面・段階」という意味ではあまり使いません。むしろ「時代・時期」(period)の意味に使われることが多いと思われます。たとえば、ピカソのことを話し

ているときに、cubistic phase と言えば「キューピズムに凝った時代・時期」です。なお、「局面」にこだわらなければ、ここは簡単に politically, economically, and culturally としても十分です。

★「世界の」は「多極化」に懸かるので of the world です。

★「多極化」は multipolarization しかないでしょう。この言葉は 1960 年代から 1980 年代に使われた政治用語で、普通の辞書には出ていないかもしれません。

★「組織化」ですが、organization には「組織」と「組織化」という二つの意味があります。したがって、organization だけでは、前後の関係によっては、どちらの意味なのかわかりません。ここは「組織化」の動きが伝わるように increasing organization として「その過程である」ことを示すことにします。

★「摩擦、軋轢、緊張」は friction, discord and tension です。

★「(・・・が) 生じつつある」は is giving rise to...でも、もちろんいいのですが、is bringing in its wake の方が具体的でいいと思います。wake は「航跡」の意味で、in its wake という「その当然の結果として」ということになります。

★「現代の大きな特徴」は the remarkable[notable; major] feature[characteristics] of our times[the present age]ですが、the character of our times[the present age] is ...も可能ですし、また characterize という動詞を使って The present age is characterized by...という書き方も可能です。

●出来るだけ元の文の情報の順序を守る

この文は、簡単にすると「A と B が現代の大きな特徴である」ですから、「現代の大きな特徴は A と B である」という構造で訳すことも出来ます。しかし、日本語と英語は違うようにいて、人間の脳に浮かんでくる順序は、意外と変わらない場合が多いと思われれます。ですから、英語でも日本語でもだいたい同じ順序にするように心がける方がいいと思います。ただ、そのためには、順序を守るための細部の工夫、言い換えると、英文の規則と習慣の工夫（ここではコロンの（:）を上手に使う）が必要になります。この文の場合、「A と B とが現代の大きな特徴である」となるように心がけると、次のようになります。

政治、経済、文化の局面において

In the spheres of politics, economics and culture,

世界の多極化と同時に組織化が

multipolaration of the world is accompanied by increasing organization

そして

And

組織化と同時に摩擦、軋轢、緊張がともに生じつつあるのが

increasing organization is bringing in its wake friction, discord and tension:

現代の大きな特徴であろう。

this is probably a major characteristic of the present age.